

模擬安全重要度・対応措置評価会合(SERP)と模擬 意見聴取会の実施状況と今後の計画について

令和元年 10月2日

1. 試運用フェーズ2における安全重要度評価 (SDP) について



- 原子力規制検査の試運用では、規制事務所が中心に安全重要度評価ガイド（試運用版）を用いて指摘事項の初期スクリーニングを行い、「緑」以下かそれを超える可能性があるかどうかについて評価
- これらの指摘事項のうち「緑」を超える可能性があるものについては、検査評価室を中心とする本庁職員が
 - 安全重要度評価
 - 評価結果について事業者からの意見聴取を行うこととした。
- しかしながら、試運用フェーズ2においては「緑」を超える可能性がある指摘事項がなかったことから、過去に日本の実用発電用原子炉で発生した安全重要度の高いと考えられる事例6件について模擬安全重要度・対応措置評価会合 (SERP) において重要度評価を実施。
- またこのうち2件について、模擬意見聴取会 (RC) を実施し、評価結果に対する事業者からの意見を聴取（今後、未実施の4件についても模擬意見聴取会を行う予定）。

2. 模擬安全重要度・対応措置評価会合(SERP)の実施結果



◆ 試運用フェーズ2においては模擬SERPを5回開催し、過去事例6件に対する安全重要度評価を実施した。

○第1回：関西電力美浜3号機

2005年「作業計画書の不十分な履行による燃料ピット冷却系の停止」重要度：緑

○第2回：北海道電力泊1号機

2007年「ディーゼル発電機起動不能に伴う原子炉手動停止事象」重要度：白

○第3回：東北電力女川1号機

2009年「非常用炉心冷却系（高圧注水系）の機能の一部喪失」重要度：白*

○第4回：

福島第一2号機

2010年「プラント内の電力供給停止による原子炉自動停止」重要度：白*

福島第一5号機

2010年「原子炉隔離時冷却系の機能喪失」重要度：白*

○第5回：敦賀1号機

2011年「非常用炉心冷却系（高圧注水系）機能喪失」重要度：白*

* 評価結果については、今後、事業者へ通知を行い、模擬意見聴取会を開催する。

3. 模擬意見聴取会(RC)の実施結果

- 第1回及び第2回模擬SERPで重要度評価を実施した美浜3号機及び泊1号機の結果について模擬意見聴取会を実施し、事業者から意見を聴取
- 模擬SERPにおいて検討された重要度評価結果に関しては事業者からの異論はなかった。
- 他方、定性評価の考え方をを用いた安全重要度評価に関して、
 - 劣化状態の継続期間
 - 指摘事項の特定者が事業者である場合 等について、適用の仕方の整理が必要との意見があった。

4. 検査評価に係る試運用フェーズ2の振り返り

①評価プロセスについて

- 模擬SERPにおいては過去事例を題材として、事象の概要、パフォーマンス欠陥の有無や「緑」以上と判断した根拠、詳細リスク評価の結果等、出席者が議論して結論に至るために必要な情報を十分に整理した上で提供することができた。
- 他方、模擬意見聴取会においては、模擬SERPの結果に対し異論がなかったため、同聴取会の本来の姿とならなかった。今後未実施の4件も含めて模擬意見聴取会の実施の習熟を図る必要がある。

②安全重要度評価について

- 過去の事例6つを用いた重要度評価については、事業者PRAモデルが未整備であることから、現在検討中の定性評価基準を用いた安全重要度評価の考え方を用いて実施し、評価に用いる指標及び評価結果について、大きな問題がないことが確認できた。
- 模擬意見聴取会での、
 - ・原子力施設の安全確保状態
 - ・劣化状態の継続期間に係る意見に関し、より明確な運用に向けた検討が必要であることが確認できた。